

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-102	Year Month Day Time 2017 年 5 月 3 日 10 : 40
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
明	成	洛 南
	62 ●	64 ○
	( 12 1st 18 11 2nd 21 16 3rd 10 23 4th 15 E P )	

主審:Referee 吉橋雅一 愛知  
副審:Umpire 加藤 始 青森  
升屋 章 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials 能代高

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		村上 孝太	CAP	-	-	-	-	0	4		大橋 大空	CAP	-	-	-	-	0
5	x	塚本 舞生		2	0	1	0	3	5	/	小西 聖也		6	0	3	0	3
6	x	相原アレクサンダー 学		8	0	4	0	2	6	x	津田 誠人		9	1	3	0	4
7		深田 一成		-	-	-	-	0	7	x	田中 智也		14	2	4	0	3
8	x	八村 阿蓮		20	0	8	4	5	8	/	長崎 淳志		1	0	0	1	0
9	/	蒔苗 勇人		5	1	0	2	0	9		中村 樹		-	-	-	-	0
10	x	田中 裕也		16	2	2	6	2	10	/	笹山 陸		2	0	1	0	3
11		木村 拓郎		-	-	-	-	0	11	x	飯尾 文哉		11	1	4	0	2
12	x	本間 紗斗		11	3	1	0	2	12	x	納土 修汰		11	0	5	1	1
13	/	古川 空音		0	0	0	0	0	13		福島 大智		-	-	-	-	0
14		バブシキ ダニエル		-	-	-	-	0	14		青木 豊志		-	-	-	-	0
15		菱倉 嵩人		-	-	-	-	0	15	/	星川 堅信		10	0	4	2	0
16		井上 耀		-	-	-	-	0	16		井ノ元 幸多朗		-	-	-	-	0
17		小川 祥英		-	-	-	-	0	17		北橋 岳洋		-	-	-	-	0
18		江刺 明青		-	-	-	-	0	18		伊関 颯		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫						0	コーチ		吉田 裕司						0
コーチ		高橋 陽介						0	コーチ		河合 祥樹						0
合 計				62	6	16	12	14	合 計				64	4	24	4	16

※x:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking[Team]

1	20	32.26%	八村 阿蓮
2	16	25.81%	田中 裕也
3	11	17.74%	本間 紗斗

1	14	21.88%	田中 智也
2	11	17.19%	飯尾 文哉
2	11	17.19%	納土 修汰

#### Score ranking[Game]

1	20	八村 阿蓮	明 成	2	16	田中 裕也	明 成	3	14	田中 智也	洛 南
---	----	-------	-----	---	----	-------	-----	---	----	-------	-----

1Q、明成は#5塚本のレイアップ、#12本間の3Pでいい立ち上がりを見せるが、その後は洛南もスピードある1on1で積極的に向かうものの、ターンオーバーなどで点が入らず、ロースコアの展開が予想できる流れ。しかし、洛南#11飯尾の3Pから連続10点をあげるなどで12-18、洛南がリードする。

2Q、明成はすばやいパス回しでディフェンスをゆさぶり、#8長崎のインサイドを狙うが、洛南も積極的にダブルチームを仕掛け、楽にシュートを打たせない。その間洛南は小刻みに点を重ね23-39で前半終了。

3Q、明成はフルコートマンツーマンを仕掛け流れをつくる。#8八村の活躍などで29-39の10点差までつめるが、洛南も3-2ゾーンを混ぜるなど戦術を変えてペースを奪い返そうとし、互いに譲らない展開となる。39-49洛南リードで最終Qへ。

4Q、明成はさらに攻撃的なマンツーマンを仕掛け、洛南のターンオーバーを誘い、#10田中、#12本間の3Pでつめる。しかし#8八村が5ファウルで退場すると、洛南#6津田のポストプレーや#15星川のレイアップで洛南が点差2桁をキープする。残り4分から明成#9蒔苗の3Pを皮切りに連続して得点し、残り1分17秒で62-62とついに追いつくも、洛南#6津田のゴール下で62-64となったところで明成はタイムアウトを使い切る。残り15秒明成ボールで1チャンスに賭けるが、シュートできずそのまま62-64で洛南が勝利した。

敗れはしたが、前半からシュートをあきらめずにつこく打ち続けた明成のたくましさや、苦しみながら粘り強く激戦を制した洛南のすばらしいゲームであった。